

競馬がますます
楽しくなる

続 ファンにやさしい

馬学講座

第 50 回

分かっていないようによく知らない 「コズミ」とは？

「コズミ」は病名ではなく
馬の状態を指す厩舎用語

今月のテーマは「コズミ」。何となくは分かっているけれど実はよく知らないという、よくある競馬用語の代表的なものだろう。今回もJRA馬事部の伊藤幹部長補佐にお話を伺っていく。

「コズミというのは病名ではないんです。では何かというと、馬の状態を指す厩舎用語なんです。『歩様が滑らかでない、ゴトゴトしている』という状態です。コズんでいる馬はほとんどの場合、体のどこかしらに筋肉痛があつて、そのために歩様がぎこちなくなっているんです」

コズミによく似た症状を呈するものに「スクミ」がある。見た目はコズミの重篤なものに見えるのだが、このふたつは別のものなのだそう。

「コズミは病名ではなく状態の呼び名ですが、スクミの方は状態を指す言葉であると同時に病名でもあるんです。正式には『麻痺性筋色素尿症』や『ミオグロビン尿症』といわれています」

単なる筋肉痛ではなく、筋肉組織が破壊されて、筋細胞の色素が尿に出てくる。血尿のような赤い尿が出てくるのだ。血液検査でもコズミとスクミには明らかな違いがあるということだ。

「スクミは欧米では『月曜朝病(Monday Morning Disease)』などと呼ばれています。あちらは日曜日が休みなのですが、休み明けに激しい運動をすると発症することが多いんです」

日本は月曜が全休なので火曜朝病ということになるのだが、本当に重いものになると歩様がおかしいどころか、まったく動けなくなったり、立てなくなったりするのだそう。

筋肉が温まりほぐれると
コズミは緩和される

話をコズミに戻そう。

コズミの原因はほとんどが筋肉痛なので、治療も当然筋肉痛に対するものになる。とくに痛みが激しい場合は痛み止めを注射することもあるが、マイクロローダーをあてたりハリを打つたりといった

治療が主なものとなる。マイクロローダーは電子レンジと同じ原理を使って筋肉の組織を温め、血行を促進するのだが、そのことでコズミを緩和することができるとの。現在はこのマイクロローダーを自前で備えている厩舎も多くなっているそう。

筋肉が温まってほぐれるとコズミが緩和されるということは、適度なウォーミングアップによって改善されるのではないかと想像されるのだが、それは実際にそのとおりなのだという。

「パドックでは多少コズんでいても、馬場に出て返し馬をすることで体が温まり、歩様がよくなる例はよくあります」

伊藤さんは競馬開催時に装鞍所業務で出走予定馬の歩様をチェックするが、中には歩様のよくない馬もいるそう。本当にひどい馬の場合は出走を認めないが、たいていは調教師が「この馬は馬場に出ればほぐれるから」と言うとおろし、問題なく走るといふ。

コズミだから走れないということはないし、レースの結果を左右するようなことではない、というのが伊藤さんの見解

講師

伊藤 幹さん
JRA
馬事部 部長補佐



案内人：辻谷 秋人
text by Akihito Tsujiya

JRA



JRAでは出走前に装鞍所で出走予定馬の歩様もチェックしている